第三部　討論にむけて

安渓遊地（西表をほりおこす会）

少数民族・先住民族の権利に関連して

- UNGEGNでは、地名の自称と他称を認め、国際的には自称の使用を推奨するが、それは西表語やアイヌ語のものを想定していない。しかし、他称にも階層性がある（The Ryukyus, 南西諸島, シューヌン＝下の国）
- 発音の表記はIPA（国際音声字母/記号）

（UNGEGNが推進する地名のローマ字化に含まれるはずだが、ネット上の入力は困難）

UNGEGN 2023 Session, New York 5月1～5日

- 2.2.5 地名
- Nativeness（自称と他称）
- 地名には、自称（endonym)と他称（exonym）がある。国連は国際的な場では自称の使用を推奨する。南極や海底の地名は別に考える。
- 自称とは：その地形が位置する地域で使用される公用語または確立された言語(well-established language)によるもの。

例：Vārānasī (not Benares); Aachen (not Aix-la-Chapelle); Krung Thep (not Bangkok); Al-Uqşur (not Luxor).

出典　https://unstats.un.org/unsd/ungegn/pubs/

抜粋訳　安渓遊地

UNGEGN 2023 Session, New York 5月1～5日

- 2.2.7 発音

　発音の基準は今のところない。特筆すべき参考文献もない。

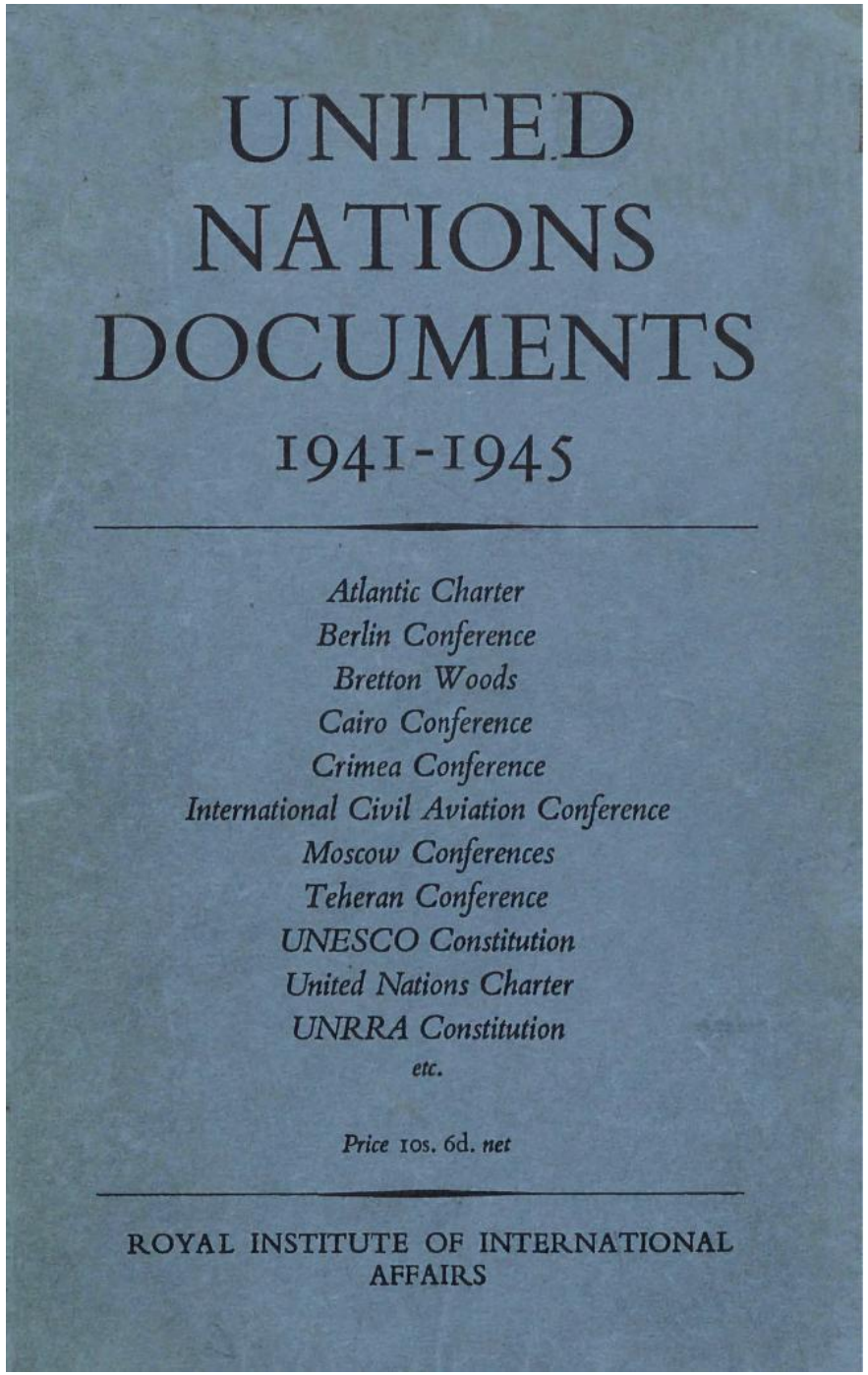
- サウンドリンク

　サウンド / オーディオファイルを検討する。

- IPAは発音を体系的に記録する最良の（唯一の）方法。

https://unstats.un.org/unsd/ungegn/pubs/

抜粋訳　安渓遊地



Declaration by United Nations, Washington, 1942年1月1日

署名国（この時点で26カ国）政府は、
　1941年8月14日にアメリカ合衆国大統領とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国首相によって発出された「大西洋憲章」に盛り込まれた共通の目的と原則を掲げる共同プログラムに賛同し……

1. 各政府は、自国が戦争状態にある三国同盟の加盟国およびその追随国に対し、軍事的または経済的な全資源を投入して戦うことを誓約する。
2. 各政府は、本宣言に署名した政府と協力し、敵対国との間で単独の休戦または和平を結ばないことを誓約する。　　（安渓遊地　仮訳）

https://archive.org/details/un-documents-1941-1945

戦争・開発への参加と地名研究者の社会的責任

昭和二十三年法律第百二十一号

日本学術会議法

日本学術会議は、科学が文化国家の基礎であるという確信に立つて、科学者の総意の下に、わが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し、世界の学界と提携して学術の進歩に寄与することを使命とし、ここに設立される。

第二条　日本学術会議は、わが国の科学者の内外に対する代表機関として、科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させることを目的とする。

現在審議中の学術会議法案

第一条　日本学術会議（以下「会議」という。）は、我が国の科学者の内外に対する代表機関として、学術に関する重要事項に係る審議、大学、研究機関、学会その他の学術に関係する者の間における連携の確保及び強化、学術に関する研究を円滑に進めるための社会環境の整備、学術に関する外国の団体及び国際団体との交流等を行うことにより、学術の向上発達を図るとともに、学術に関する知見を活用して社会の課題の解決に寄与することを目的とする。